

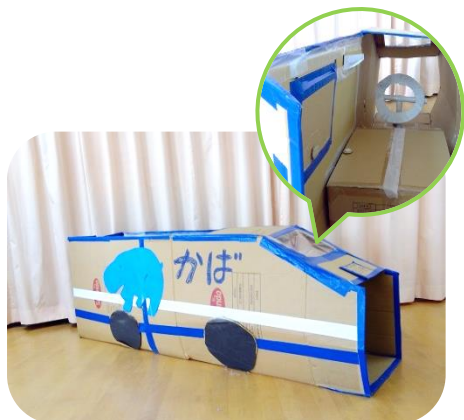


3月園だより

令和7年3月1日
目黒区立大岡山保育園園長

2月に職員の園内研修があり、「子どもが遊べる乗り物」というテーマで、身近な空き箱や段ボール等を使い、グループごとに制限時間30分という短い時間で制作する取り組みを行いました。3グループに分かれ、7、8人で挑みます。テーマは当日伝えられたため、まずは作戦タイムを取り、5分で計画を練ってスタート。材料をかき集め、手際よく役割分担をして制作を進めます。そして30分後に出来上がったのが、どのグループも段ボールをメイン材料にした乗り物で「水陸両用カバ号」「エレベーター」「キリンのクレーン車」が出来上がりました。色をカラフルにしたり、ショベルカーはショベルが伸びるようになっていたり工夫も見られ、チームワーク力の賜物という印象を受けました。今年度の研修のテーマの一つに『こどもの気持ちになってみよう』というねらいがありました。職員からは「材料をたくさん取りたくなったり、時間になっても終わるのが切り替えられなかったので、子どもの気持ちを改めて感じる事ができた」「制作をしていく過程で、いろいろなイメージが沸きドキドキわくわくした気持ちになった。子どもたちはこんな思いで遊びに向かっているということが分かった」などの感想がありました。子どもの気持ちや思いにより近づいていくためには体感するような取り組みが大切だという経験を職員で共有しました。

令和6年度もあと1か月となりました。懇談会ではお悩みを持ちながらも保護者様の工夫していることや今抱えている思い等の紹介もいただき、共育てをしているという実感を得られました。今年度も保護者の皆様にはたくさんのご協力、ご援助をいただき大変ありがとうございました



「水陸両用カバ号」



「エレベーター」



「キリンのクレーン車」



3月の予定

卒園式
お別れ遠足
（3、4、5歳児クラス）
ポニー教室（5歳児クラス）
移動日
お別れ会
中旬 身体計測 避難訓練

【クラス移動について】

新クラス移行に向けての準備をします。
新クラス保育室で現担任が保育します。
※詳細は後日配信しますのでご協力をお願いします。



こんなにおおきくなりました



0歳児（いちご組）

保育士と一緒にいる楽しさや心地良さを感じられるように、一人ひとりとの関わりをじっくり深めることを大切にしてきました。今では、保育士に見守られる中、安心して興味のある所に向かい自由に探索活動を楽しむようになっていきます。「あれ、なんだろう」「ちょっとやってみようかな」と新しい発見や楽しいことをたくさん見つけてくり返し楽しんでいます。友達がタイヤに入っていると自分もと真似をして一緒にのこをやりたがり、食事の時も隣の子と同じ物を食べて「おんなじ」と喜ぶ姿などとても可愛いです。子どもたちが感じた思いに寄り添い、さらに興味を広げて好きな遊びを見つけ楽しめるように見守っていきます。

「やってみる？」
返事の代わり
弾ける笑顔



1歳児（もも組）

自分で好きな遊びを見つけて遊ぶ姿から、「友達と一緒に楽しい」という姿に変わってきています。ある子がクマ人形を抱っこしてご飯をあげていると、それを見た友達が同じようにクマ人形を抱えて隣に座ります。すると「どーぞー」とご飯を分けて「おいしい？」と声をかけ並んでご飯をあげていました。友達がしている遊びが楽しそうと興味を持ち、並んで遊べる姿に成長を感じています。これからもっと仕草や言葉でやり取りが増えていきます。友達同士の関わりを見守りながら、たくさんの「楽しい」を共有できるように仲立ちしていききたいと思います。

イヤイヤと
怒った顔も
かわいいな



2歳児（りんご組）

色々なことに興味関心を持っています。毎日「なんでなの？」「どうしてそうなの？」とあらゆることに対して質問の嵐です。友達の気持ちにも関心を持ち始め「なんで泣いてるのかな？」と気遣ってティッシュで涙を拭いてあげようとしたり、言い合いになっている友達の様子を気にしながら「ここに同じのあるよ」と取ってきてあげたりする姿も見られるようになってきました。自分の気持ちを主張できるようになってきたからこそぶつかり合うこともあると思いますが、これからも保育士が子どもの気持ちを尊重しながら関わっていくことで、安心して自分の気持ちを表現し、主体的に過ごす姿を大切にしていきたいと思っています。

自分の気持ち
大事にしたから
わかること



3歳児（さくらんぼ組）

友達と一緒に遊ぶことの楽しさを味わい、たくさんのやり取りを経験したことで、友達を思いやる姿が自然と出てきています。散歩先で靴が脱げると、歩いている友達に「靴が脱げたよ」と大きな声で教えてあげ、靴を拾って「大丈夫？」と声をかけています。また公園から保育園に帰る際には、手をつなぐペアの友達を探して「行こう」と手を差し伸べながら声をかけ誘ってしていました。4月の頃は保育士が、一生懸命声をかけていたことを思い出し、身体だけでなく心の大きな成長を感じることができました。これからも、友達と一緒に遊ぶ楽しさに共感しながら仲立ちし、友達関係を深めていききたいと思います。

「一緒だよ」
帰るの誘われ
手を握る



4歳児（れもん組）

友達関係が広がり、クラスみんなで楽しさや面白さを共有して遊ぶようになりました。絵本に登場する「かっぱおやじ」を戸外で探すごとに夢中になっています。最初は少人数でしたが、今では「かっぱおやじが変身してる木かも」などという声が聞こえると一斉に集まって話し合っています。「こっちとあっちに分かれよう」「ぼくは木を調べてくる」「わかった」と二手に分かれたり、手がかりの写真を持って同じ模様を探したりと自然に役割分担していました。友達が「かっぱおやじこわい」と涙すると「一緒にいるから大丈夫」と手を握って戻る姿もありました。楽しいことも悲しいことも「友達がいるから大丈夫」と思えるような一人ひとりのつながりも一年間で深まってきました。

いっしょに
友達いねば
大丈夫



5歳児（ぶどう組）

一年間たくさん当番活動をしてきました。中でも張り切っていたのがコット当番です。用務職員と一緒に 3、4歳児クラスのコットを敷いていきます。敷きおわると毎回「ありがとう」「助かるわ」などと声を掛けてもらい、頼りにされていることや役に立つ喜びをより感じてきました。友達が困っている時に近くに行き話を聞いたり、さっと助けたりする姿が多くなり、クラス以外の友達にも優しく声を掛け助ける姿もあります。運動会、成長お祝い会などの行事でも、自分のことだけでなく周りのことも考えながら行動し、みんなで協力し助け合って色々なことに挑戦してきました。小学校生活でも友達と力を合わせ乗り越えていってほしいです。

助け合い
みんなと一緒だから
できたこと

卒園するぶどうぐみにインタビュー

好きな給食

1位 ハヤシライス



2位 カレーライス



3位 ブロッコリーのナムル



楽しかった行事

1位 運動会

・みんなで力を合わせた縄体操やリレーが楽しかった

2位 芋ほり遠足

・たくさん芋が掘れて嬉しかった
・おいしいお弁当をみんなで食べたことが楽しかった

3位 ドッジボール大会
カレーパーティー
夏祭り